

新型コロナウイルス感染症による 関係業界への影響について

(令和4年4月末時点まとめ)

令和4年5月

国土交通省

【令和4年4月末時点まとめ】

調査対象

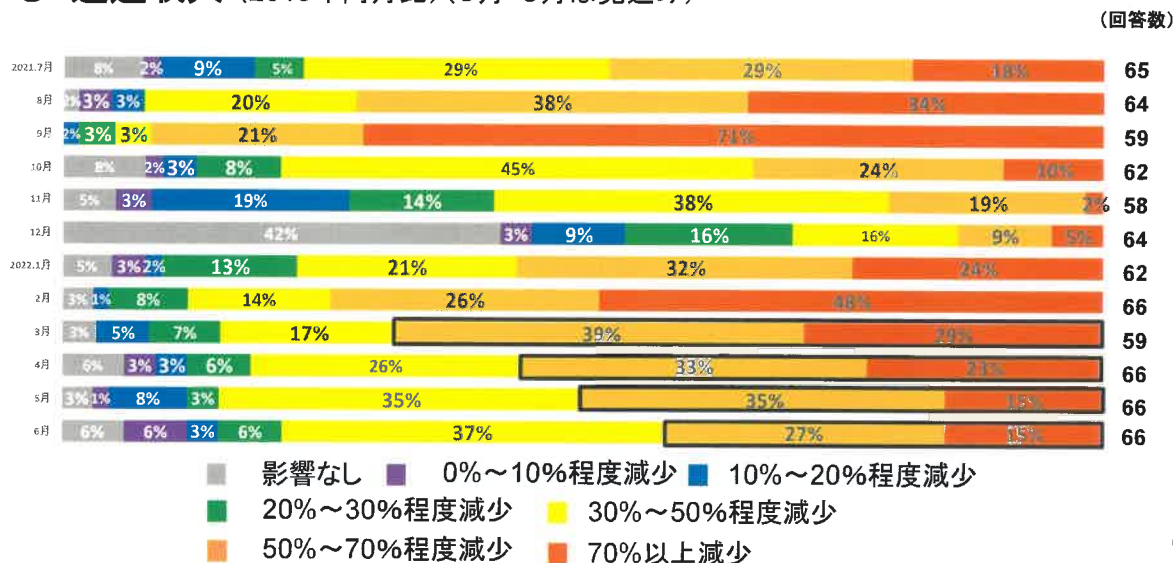
- ・ 宿泊、旅行
- ・ 貸切バス、乗合バス
- ・ タクシー
- ・ 航空
- ・ 鉄道
- ・ 外航旅客船、内航旅客船
- ・ 貨物自動車運送業
- ・ 内航貨物船
- ・ 造船業

主な調査項目

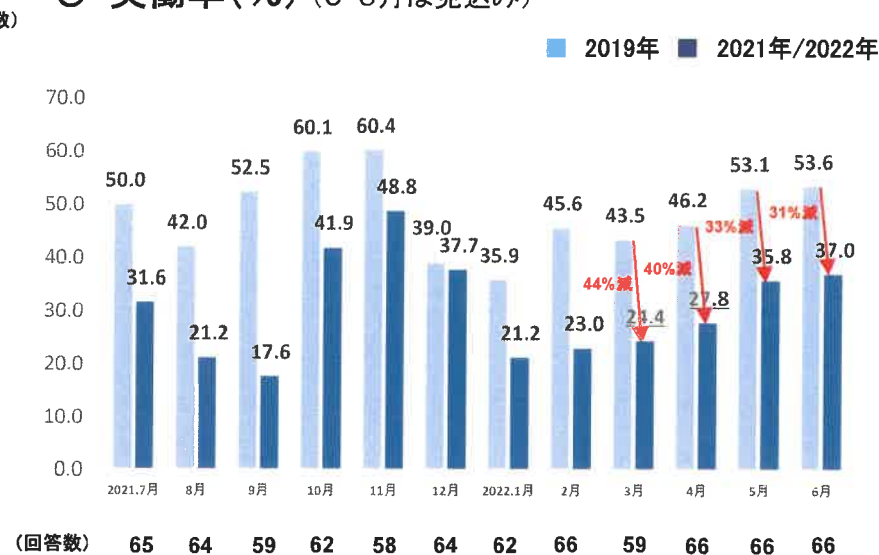
- ・ 売上
- ・ 輸送人員、予約状況等
- ・ 資金繰り状況
- ・ 雇用調整助成金の活用状況
- ・ 資金繰り支援の活用状況
- ・ 事業者の意見・要望

○4月において、運送収入が50%以上減の事業者は前月の68%から56%に減少、実働率は前月の約24.4%から約27.8%に増加したものの、前月に引き続き依然非常に厳しい状況が継続。
 ○5月以降も約4～5割の事業者が50%以上の運送収入の減少を見込むなど、厳しい状況が継続する見通し。
 ○支援制度については、資金繰り支援を92%の事業者が活用しており、給付済み。雇用調整助成金を83%の事業者が活用しており、給付済み。

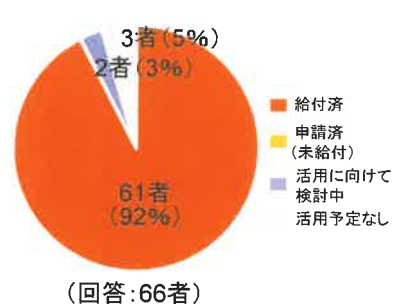
○ 運送収入（2019年同月比）（5月・6月は見込み）



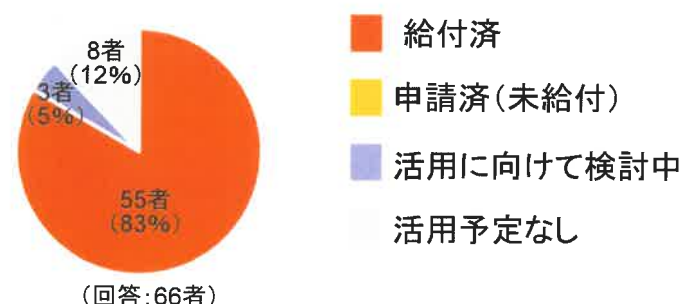
○ 実働率(%)（5・6月は見込み）



○ 資金繰り支援の活用状況



○ 雇用調整助成金の活用状況



※調査方法:日本バス協会加盟貸切バス事業者(79者)に対して協会よりアンケート調査を実施。

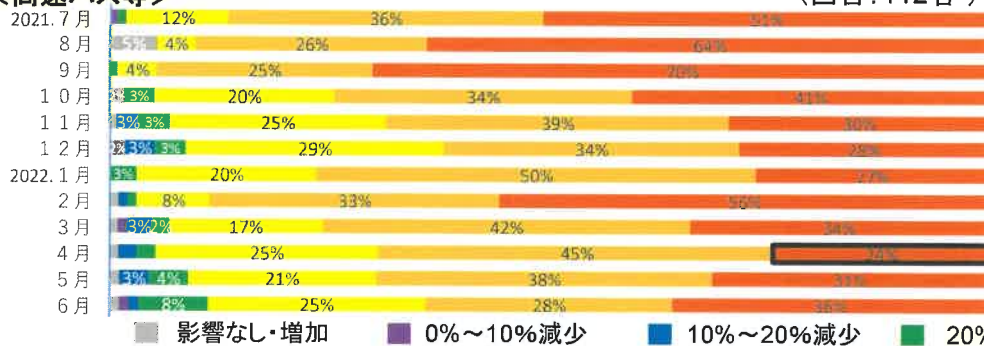
新型コロナウイルス感染症による関係業界への影響調査（乗合バス）

- 高速バス等については、4月の運送収入70%以上減の事業者が全体の24%、輸送人員が56.3%減となるなど、依然非常に厳しい状況が継続。
- 一般路線バスについても、運送収入が30%以上減の事業者が21%、輸送人員が20.0%減となるなど、厳しい状況が継続。
- 5月以降も、オミクロン株による感染が継続している影響もあり、非常に厳しい状況が継続する見込みであり、一般路線バスについても、引き続き厳しい状況となる見通し。
- 支援制度については、資金繰り支援を64%の事業者が活用しており、63%が給付済み。雇用調整助成金を74%の事業者が活用しており、72%の事業者が給付済み。

○運送収入（2019年同月比）（5・6月は見込み）

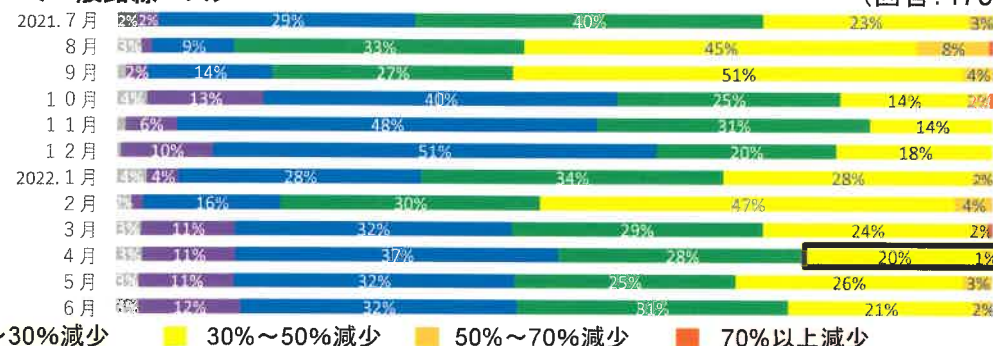
<高速バス等>

（回答：112者）



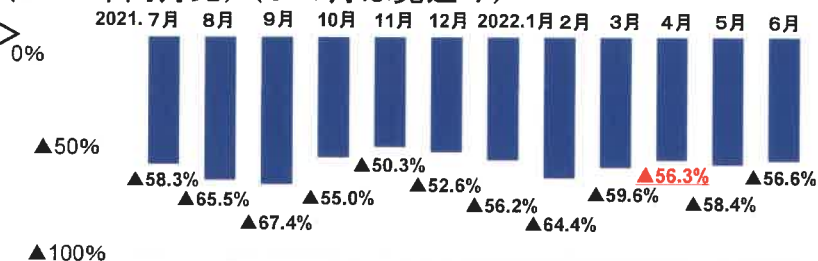
<一般路線バス>

（回答：170者）



○輸送人員（2019年同月比）（5・6月は見込み）

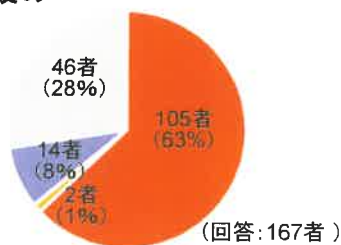
<高速バス等>



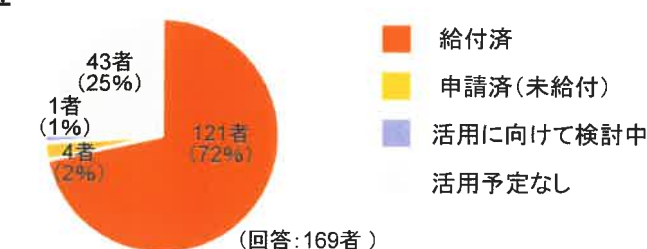
<一般路線バス>



○資金繰り支援の活用状況



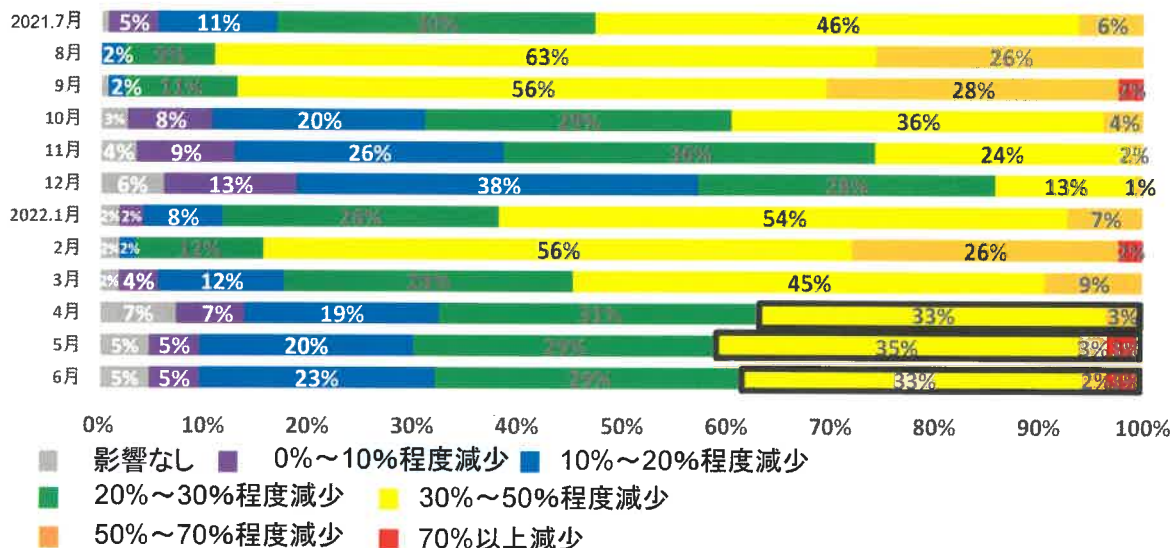
○雇用調整助成金の活用状況



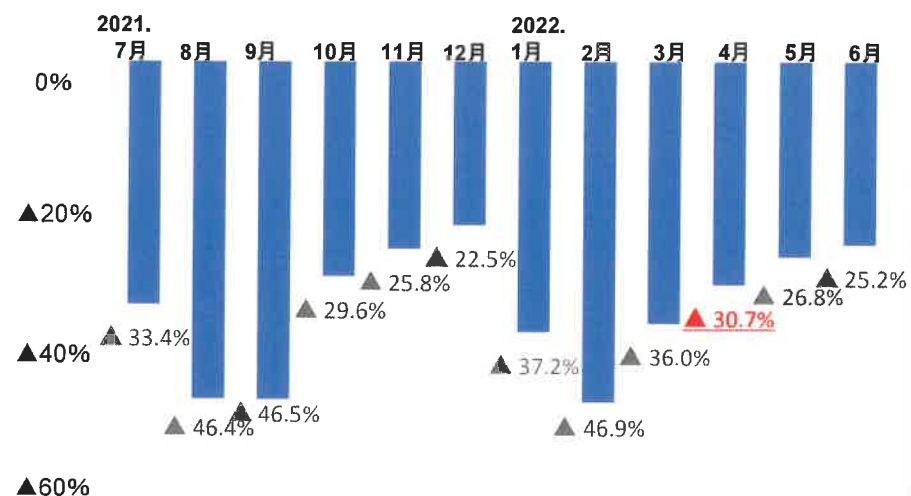
※調査方法：乗合バス事業者239者に対して業界団体を通して影響を調査。

○4月においては、運送収入が30%以上減の事業者が36%、輸送人員が約31%減となるなど、依然として厳しい状況。
 ○5月以降、約4割の事業者が30%以上の運送収入減を見込むなど、引き続き厳しい状況となる見通し。
 ○支援制度については、資金繰り支援を93%の事業者が活用しており、89%の事業者が給付済み。雇用調整助成金を79%の事業者が活用しており、72%の事業者が給付済み。

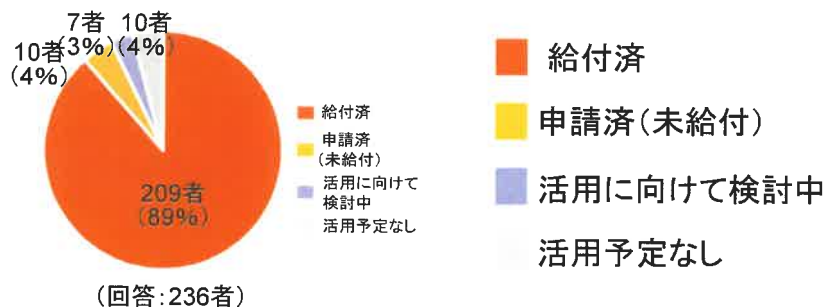
○ 運送収入（2019年同月比）（5・6月は見込み）（回答：258者）



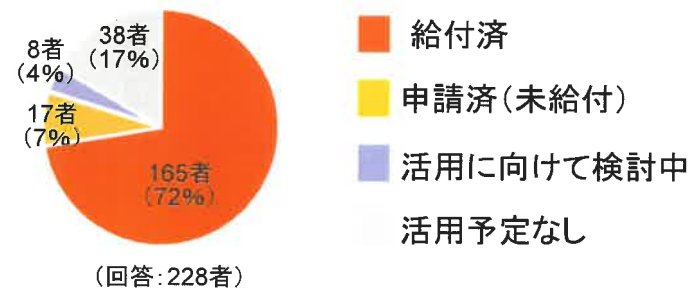
○輸送人員（2019年同月比）（5・6月は見込み）



○資金繰り支援の活用状況



○雇用調整助成金の活用状況



※調査方法: タクシー事業者266者に対して業界団体を通して影響を調査。調査時期: 4月末時点での状況を調査。